

## 意見の概要と教育委員会の考え方

※網掛けの部分は、計画に反映させた意見

No.	意見の概要	教育委員会の考え方
<b>全体について</b>		
1	<p>「教育ビジョン2012」（以下「現ビジョン」という。）の「共に学び共に支え共に創る杉並の教育」を受け継ぐ「教育ビジョン2022」（以下「新ビジョン」という。）は、区民の声を取り上げ、持続可能な社会、共生社会の形成に重きを置いた教育環境の構築であると評価し、共感する。</p> <p>＜他、同趣旨6項目＞</p>	<p>「教育ビジョン2022」（以下「新ビジョン」という。）は、「人生100年時代」を、区民誰もが学びを通して自分らしく豊かに生きるためのよりどころとなるよう、杉並の教育の基本的な考え方を示したものです。その策定過程において行った区民アンケートや「すぎなみ教育シンポジウム2020」で寄せられたご意見を踏まえ、杉並区教育振興基本計画審議会（以下「審議会」という。）において、幅広く検討されました。</p> <p>ここでは、子どものあるべき姿を一律に定めるのではなく、これからの社会を生きる上で、変わらず大切にしたいことは何かという観点に立ち、人としての尊厳を尊重し、多様性、社会的共生などの考え方を踏まえ策定しています。</p> <p>子どもたちを含むすべての区民が「みんなのしあわせを創る杉並の教育」のために何が必要かを念頭に置いて、力を合わせていくことが大切であると認識しています。</p> <p>今後は、区民と区が、みんなのしあわせをみんなで作る教育を実践し、学びの成果の贈り合いが広がるよう、取り組んでいきます。</p>
2	<p>「みんなのしあわせを創る杉並の教育」は、子どもから大人まで目指していることがわかりやすく、とてもいいと思う。</p> <p>＜他、同趣旨1項目＞</p>	
3	<p>先行きが不透明だからこそ、学びを通して、誰もが幸せに生きるために何ができるか、皆が当事者意識を持って考えていけるとよい。</p> <p>＜他、同趣旨2項目＞</p>	
4	<p>目指す人間像を定めないことに賛同する。</p>	
5	<p>先のわからない世の中だからこそ、自分で決めていく力をつけ、子どもたち一人ひとりが心豊かで幸せと感じられるよう育てほしい。そのためには、長いスパンで考えた教育が必要であり、子どもたちの可能性を伸ばせる学びを目指してほしい。</p>	
6	<p>「みんなのしあわせを創る杉並の教育」の中で誰もが学べることは大切で重要だが、一人ひとりが自ら学び、自ら道を拓くことも重要である。推進計画には「自らの道を拓く人」を育てる計画がなされることを期待する。</p>	
7	<p>「私たちが大切にしたい教育」は「共生社会の実現」を軸とする教育を掲げているのみであり、その他の複雑で多様な教育課題が記載されていない。教育ビジョンは多面的であるべきである。</p>	
8	<p>「杉並区」を「〇〇区」に置き換えても通じることのないようなビジョンであってはならないと思う。</p>	
9	<p>抽象的な言葉が多く、どこの自治体でもあてはまりそうな内容である。もっと杉並区らしさが出ると思うのではないか。</p>	

No.	意見の概要	教育委員会の考え方
10	現ビジョンとその下の政策・施策の検証を踏まえた杉並区の教育の課題整理と改善の方向性が示されておらず、政策の継続の観点から疑問を感じる。	現ビジョンに掲げた「共に学び共に支え共に創る杉並の教育」のもと、区民の参画と協働により、学校運営協議会や学校支援本部をはじめ、多くの地域の方々の力がつながり合う基盤を整えてきたことがこの間の成果であると考えており、新ビジョンにおいてもこれを土台として、学び合い、教え合う教育を進めていきたいと考えています。
11	新ビジョンは、従来の教育からかなり方向転換をすることになるのではないかと。現場の先生方が子どもたちと向き合ったとき、それに基づく指導をしてもらえるのか。	現ビジョンのもと進めてきた「共に学び共に支え共に創る杉並の教育」は、これからも時代を超えて大切にしていける基盤と考えています。 新ビジョンはこの基盤の上に、多様性、社会的共生などの考え方を踏まえ、教育行政のみならず、一人ひとりが「人生100年時代」をどう学び続けるか、みんなで考え実践していくか、といった観点で策定しています。教育現場においても、この考え方に基づき取り組んでいきます。
12	審議会の答申は「行政として遵守すべき価値」が前面に打ち出されておらず、区民に行動や考え方を促すことが基調であり、教育行政の主体としての責任が希薄である。 ＜他同趣旨1項目＞	審議会では、新ビジョンを区民と区にとっての杉並の教育の基本的な考え方を示すものとし、区民一人ひとりが自ら教育の当事者となってかかわっていくという観点を立ち、答申がまとめられました。 審議会の答申を踏まえ、新ビジョンでは、教育行政の取組は方向性についての記載に留め、これを実現するための具体策は、今後行政の行動計画として策定する「教育ビジョン2022推進計画」（以下「新推進計画」という。）に記すこととしています。
13	新ビジョンは具体性に乏しい。具体案を出してほしい。 ＜他同趣旨1項目＞	「しあわせ」や「ちがひ」等の表記については、漢字によるイメージや漢字の持つ意味に制約されることがないように、平仮名を使用しています。「まち」についても、特定の地名や範囲だけでなく、そこに暮らす人や、人のつながりも含める趣旨から、平仮名としています。 また、定義については、あえて意味を限定することなく、一人ひとりが自由に考えていただけるようにとの思いから表記していないものです。
14	「しあわせ」「ちがひ」「みんな」「まち」などの平仮名表記について、共通認識が持ちにくいと、意図の説明と語彙の定義をしてほしい	「みんな」については、区民と区を対象としつつも、それぞれの立場において幅広くとらえてほしいという趣旨で使用しています。
15	「みんな」が二重の意味で使われているようで難解である。	教育には一定の継続性が求められる一方、時代の変化に即した柔軟な対応も必要です。教育行政の具体的な取組は、新推進計画において定めていきますが、その取組については適宜振り返り、柔軟に見直しを行っていきます。
16	新ビジョンについて、見直しや振り返りを行い、次の10年の間に軌道修正を加えていくことが必要だと思う。	他者との関係が大切であることは、審議会の中でも共有されてきたものであり、それが「みんなのしあわせを創る」という言葉に集約されたものと考えています。 「子どもの思いを尊重する」をはじめとした「一人ひとりが教育の当事者として心がける視点」について、家庭での教育も含めて、区民の方々が機会あるごとに考え、実践できるよう、支援していきます。
17	学びは他者との関係も大切であり、特に、乳幼児から幼少期にかけては、周囲のサポートが欠かせない。個人の成長を支える環境（家庭・地域・学校・行政）の整備・責務について、もっと述べていいのではないかと。	

No.	意見の概要	教育委員会の考え方
18	新ビジョンに「子どもの権利条約」「障害者権利条約」の条約名を入れてほしい。	新ビジョンには「人権」や個別の条約名等の記載はありませんが、これは特定の内容に特化することなく、より幅広いものとしたいという審議会での議論を踏まえたものであり、日本国憲法をはじめとする守られるべき規範等の趣旨を含んでいるものと認識しています。
19	「教育ビジョン2022の策定について」の「(3)策定にあたっての基本的な考え方」に「人としての尊厳を尊重する」とあるが、「尊厳」だけでなく「人権」を加えてほしい。	
20	「一人ひとりが教育の当事者として心がける視点」では、子どもの権利条約に沿った子育てが必要であるため、子どもの持つ権利を尊重することを、項目として立ててほしい。	
21	「一人ひとりが教育の当事者として心がける視点」の「1. 子どもの思いを尊重する」に「それぞれ自分の思いを持っています」とあるが、「自由と権利」を持っており、それぞれが権利の主体であることを明記してほしい。	新ビジョンで尊重したいものは、すべての人の「自由」や「権利」のみならず、一人ひとりの自発的な「思い」であることから、この表記にしています。
22	子どもの周囲の大人を含め、いかに多くの人にこの新ビジョンを周知し、理解してもらうかが大切である。 ＜他、同趣旨2項目＞	新ビジョンに掲げた、「みんなのしあわせを創る」教育を考えることは、何のために学ぶのかを大人も含めて一人ひとりが考えるきっかけにもなると考えています。 より多くの区民が教育の当事者になることができるよう、区民の関心に寄り添いながら、学校や地域が主体となった取組とも連携し、新ビジョンの周知・理解促進に努めていきます。
<b>教育ビジョン2022の策定について</b>		
23	「(2)教育を取り巻く環境の変化」の「国連では、…(中略)…が定められています。」について、主語は「国連」であるため、「…『持続可能な開発目標(SDGs)』を定めました。」としたほうがよいのではないか。	ご指摘の趣旨を踏まえ、より適切な表現となるよう、修正します。 [別紙2 No.1]
24	「(3)策定にあたっての基本的な考え方」の「区民誰もがこれからの時代を自分らしく生きる」について、「区民誰もがこれからの時代をより良く生きる」「区民誰もがより豊かに生きる」としてはどうか。	「よりよく生きる」といった表現は、今の自分自身を受け止めておらず、その状態を変えようという印象を与えかねないという審議会での議論を踏まえ、「自分らしく生きる」としています。
25	「(4)計画の位置付け」に「羅針盤」という文言が使われている。新ビジョンでは目指す人間像を定めないので、進むべき方向を示すのは矛盾ではないか。	ご指摘の趣旨を踏まえ、よりわかりやすい表現となるよう、修正します。 [別紙2 No.2]

No.	意見の概要	教育委員会の考え方
<b>I 私たちが大切にしたい教育</b>		
26	ちがいを大切にするというコンセプトならば、「みんなのしあわせを創る杉並の教育」を「一人ひとりのしあわせを創る杉並の教育」とした方がよいと思う。	区民アンケートでの子どもたちからの回答においては、区民、在勤・在学者、大人・子どもの総称として「みんな」が多く使われており、新ビジョンではそうした子どもたちの言葉を生かしたいと考えています。
27	「Education for All」等の言葉は、これまでの蓄積のもと更に発展しようとする杉並区の教育のあり方を示すものとしては、誤解を招くのではないか。	新ビジョンでは、「すべての人に教育を (Education for All)」という基礎の上に現ビジョンで培ってきた、みんなが当事者となって一緒に教育を創っていくという観点をより一層進めるため、「みんなが共に教育を創る (Education by All)」としています。
28	「学び合い、信頼をつくり、共に生きる」にある「センス・オブ・ワンダー」は聞き慣れない言葉である。	審議会において、一人ひとりの学びは、さまざまなことを不思議に思う気持ちや好奇心から始まることを大切にしたいという議論があり、それを端的に表す言葉として、アメリカの生物学者レイチェル・カーソンの「センス・オブ・ワンダー」が挙げられたことから、使用しています。
29	「学び合い、信頼をつくり、共に生きる」に「いきいきと学び続ける力を育み」とあるが、学習指導要領の観点から、「いきいきと深い学びを続ける」とした方がよいのではないか。	学習指導要領における「深い学び」とは、身に付けた「知識・技能」を自由自在に活用・発揮できる状態に向かうこととされています。「いきいきと学び続ける」の「学び」は、学ぶこと自体を楽しむという観点でのものであることから、この表記にしています。
30	「ちがいを認め合い、自分らしく生きる」にある、「思いをおくり合い」という言葉は一般的でなく、表現が難しい。	「思いをおくり合う」は、思いを「送り合う」と「贈り合う」という両方の意味を込めて用いており、そうした言葉の多義性により、一人ひとりに想像してもらいたいという観点から、この表記にしています。
31	みんなの幸せを作るためには、考えることや尊重することだけでは不十分であり、差別をしないことが必須であるため、「差別を許さない」ことを明記してほしい。	「ちがいを認め合い、自分らしく生きる」において、差別を起ささない、許さないために何が必要かということを示しています。 また、新ビジョンでは「～しない」という表現をなるべく避け、「～していく」という肯定的表現を使用しています。
32	「誰もが社会の創り手として生きる」という表現は、強制的な感じがする。 <他同趣旨1項目>	一人ひとりが主体となって「みんなのしあわせを創る杉並の教育」の当事者としてかかわっていくことが大切であるという認識のもと、この表記にしています。
<b>II 一人ひとりが教育の当事者として心がける視点</b>		
33	「一人ひとりが教育の当事者として心がける視点」を「一人ひとりが教育の当事者として」「一人ひとりが教育の当事者となる視点」「一人ひとりが教育の当事者である視点」などとしてほしい。	区民、家庭、地域、学校、教育委員会といった、一人ひとりあるいは主体が、日頃からこの5つの視点を心がけながら、教育の当事者として実践していくという趣旨から、「心がける視点」としています。
34	「みんなのしあわせを創る杉並の教育を豊かに育て続ける」について、「豊かにしていく」などとしてはどうか。	「みんなのしあわせを創る杉並の教育」は、子どもたちを含むすべての区民が、教育の当事者として心がける視点を持って、学び合い、教え合い、かわり合うことを実践し、具体にしていこうという趣旨からこの表記にしています。

No.	意見の概要	教育委員会の考え方
35	「2.ちがいを受け入れる」は、「ちがいを受け止める」のほうがよいのではないか。	ちがいを「受け止める」だけではなく、自分ごとにしていくという趣旨から、「受け入れる」としてきます。
36	「3.対話を大切にする」において、「私たちは他者との対話やかかわり合いを通して」とあるが、学習指導要領の観点から「主体的な」を加えるべきではないか。	「一人ひとりが教育の当事者として心がける視点」の5つは、いずれも主体的であることを前提としているため、個別の記載はしていないものです。
37	「4. 学びの成果を贈り合う」について、「学びの成果を生かし合う」「学びの成果を伝え合う」「学びの成果を共有する」などとしてはどうか。 ＜他同趣旨1項目＞	一人ひとりが学んだ成果を積極的に共有し合う、という意味を込めて、「贈り合う」を使用しています。
<b>III 教育行政の取組の方向性</b>		
38	「学びを通して誰一人取り残されない社会を…」の「誰一人取り残されない」について、行政が「誰一人取り残さない」主体であるような表現にしてほしい。	学びを通して、互いのちがいを認め合い、支え合うことによって、誰一人取り残されないようにしていくという趣旨から、この表記にしています。
39	持続可能な社会の実現のため、学校は地域住民も学ぶ場になると思う。行政の横断的な連携のもと、地域住民と協働して創る新たな公共空間の実現を期待する。	区民の身近にある学校が「学びのプラットフォーム」となるよう、誰もが気軽に利用できる仕組みづくりに取り組んでいきます。
40	今後も、区民、特に現ビジョンで育った次世代の声を聞いて、より良い学びの場を創ってほしい。	子どもたちの声を受け止めながら、また地域の中で子どもと大人のやりとりを生み出す取組を促しながら、子どもたちも地域の一員として参画する学びの場の充実に努めていきます。
41	「ちがうことが宝」であり「ちがいを育てる」「ちがいを活かす」教育をすべきといった方針となる基盤が根付くことを願う。	「一人ひとりが教育の当事者として心がける視点」を踏まえ、ちがいを生かす教育を地域と共に一層進めていきます。
42	「一人ひとりが教育の当事者として心がける視点」を区も実行できるよう、行政担当者や教員などに研修等を行ってほしい。 ＜他、同趣旨1項目＞	
43	「ちがいを認め合い、自分らしく生きる」はこれからの10年、課題になると思う。様々な状況の子がいる中、教育行政は少数の方々にも寄り添える教育を具体的に示し、「みんなのしあわせを創る杉並の教育」を題目に終わることなく挑戦してほしい。	新ビジョンのもと、区民が子どもたちとのかかわりの中で「ちがいを受け入れる」などの「一人ひとりが教育の当事者として心がける視点」を実践する機会を充実させていきます。また、個々の子どもの状況に応じた教育環境の整備に努めていきます。
44	「ちがいを受け入れる」教育として、LGBTQや発達障害等について、理解を深めていけたらよいと思う。 ＜他、同趣旨2項目＞	
45	いじめや虐待、貧困や格差、孤立などの社会問題が深刻化する今日、教育の果たす役割は重要である。教育の実践に福祉の連携は欠かせないことから、推進計画の策定にあたり具体的に検討してほしい。	

No.	意見の概要	教育委員会の考え方
46	「人への思いやりを大切にできる心」を育む教育を進めてほしい。	思いやりの心を育むことは重要であり、学校ではより深く自己を見つめながら、人としての生き方や社会のあり方について考える教育を行っています。今後もかかわりを前提とした学び合いを通じて、身の回りにいる人たちを思いやり、理解し合うことにより、互いの信頼が育まれる教育を進めていきます。
47	新ビジョンに環境教育や命を守る教育を加えて欲しい。子どもたち自身が考え、実践できるよう教育する必要があると思う。	SDGsに掲げる持続可能な社会の構築を目指し、学校や地域における環境教育を実践していくことや、命の大切さ・尊さについて学ぶことは大切なことであると考えています。学校では、環境教育に関する様々な教育活動や、自ら危険を予測し回避する能力の育成に努めており、引き続き指導していきます。
48	新ビジョンには、文化財の話が入っていない。未来につなぐためには、子どもも先生も杉並の歴史や文化など、郷土を知り、関心をもつことが重要である。「郷土に誇りをもつ」、「郷土を知る」、「我が町を知る」などを明記することが必要ではないか。	歴史や文化など郷土を知ることが重要であり、学校ではこれまでも学習指導要領に則り、郷土のことを学ぶ学習を進めてきました。また、生涯学習分野では、郷土博物館の特別展・企画展等を通じて、区民が歴史や文化に親しむ機会を提供してきました。今後も、新推進計画や区の総合計画・実行計画等において具体的な取組を進めていきます。
49	コロナ禍により対面での教育が難しい中で、伝統文化の継承や地元の歴史などを教えてもらえる機会が減っている。子どもたちに何をのこすか、何を見守るかを考えていきたい。	
50	教育行政の役割として、子どもたちの成長に必要な自然環境との調和や、子どもたちが安心安全に過ごせるまちづくりとして必須となる住環境の整備（防犯・災害対策等）を加えてほしい。	子どもたちの学びの場として、自然豊かな環境の保全や安全・安心に過ごせるまちづくりは重要なことと認識しています。これらの具体的な取組等については、区で定めている「環境基本計画」等の関連計画と連携して取り組むべきものと考えています。
51	社会の創り手として生きるためには、地域運営学校（CS）や学校支援本部など教育関係団体や地域資源を活用したより小さな地域という単位での行動計画の策定を期待する。	新ビジョンの具体化にあたっては、教育委員会による教育環境の充実と併せて、小さな地域単位での対話とそれを踏まえた行動が欠かせません。ご指摘の観点を踏まえ、地域の教育関係団体との協働をより一層充実させていきます。
52	学校支援本部にかかわっているが、地域の方を学校へ入りやすくすることの難しさを実感している。子どもたちを育むためには、家庭・地域・学校の協働が必要で、今後さらに地域力を生かし、活動していく。	区では、全国に先駆けて、地域の人が学校にかかわっていく学校支援本部の取組を推進してきました。引き続き、地域と学校が目指す関係について、多くの区民の方に伝わるよう、広報等を含めて取り組んでいきます。
53	学校の授業について、議論や実践、発表等、能動的な授業を増やし、自分の思いを言葉や作品などを通じて表現できる力を付けてあげてほしい。 住民の力を借りて充実した教育を行い、未来ある子どもの能力を伸ばしてほしい。	子どもたちの可能性を引き出す、一人ひとりに応じた学びと他者と協力する学びの実現に向け、子ども同士による学び合い、地域での多様な体験活動などを通じて学ぶことが重要と考えています。そのために、学校と地域が連携・協働し、多様な外部人材等が学びに携わることのできる学校教育をより一層進めていきます。
54	これからの社会においてICTやAIは学びに必要な不可欠なものとなり、情報発信や情報を正確に見極める力を養う必要がある。 家庭だけでなく、学校教育においても情報モラル教育を進めてほしい。	児童・生徒1人1台専用のタブレット端末が整備される中で、学校ではこれまでも情報モラル教育を進めてきましたが、今後も家庭と連携を図りながら、一層の充実に向けて努めていきます。

No.	意見の概要	教育委員会の考え方
55	小学生に対し、タブレットやパソコンなどを配布する形態の授業を強要することは避け、課外授業としてほしい。また、プログラミング教育も、幼い子供に強制するのは避けてほしい。	児童・生徒1人1台専用のタブレット端末の整備については、子どもたちの学びの可能性を広げるため、計画的に取り組んできました。学習指導要領においてはプログラミング教育やICTのより一層の活用が求められています。区ではこれまで積み重ねてきた取組を生かし、発達段階に応じ適切に活用していきます。
56	AI活用やテレワークなどは手段であり、「やりとり」「かかわり」「つながり」を学ぶこと、補助的機能としてのICT活用を考えていくことが重要であると思う。より一層具体的な行動計画の策定を期待する。	これからの教育において、協働的な学びは一層重視されていきます。その中で、ICTは目的ではなく手段として活用していくものであると考えています。引き続き、新ビジョンに示した、かかわり合い、つながり合いを大切にしながら取り組んでいきます。
57	子どもたちの豊かな学びのために、科学館を作ってほしい。	科学に関する実験や経験ができる環境は必要であると考えており、現在、旧杉並第四小学校跡地を活用し、民間事業者との連携による科学の拠点の整備を進めています。また、当該施設を拠点として、区内をフィールドにした出前型・ネットワーク型の事業を展開し、豊かな学びを提供できるよう進めています。
58	1クラス20人学級を実現してほしい。	学級編制について、区では区費教員を活用した30人程度学級の施策を進めてきましたが、このたび、
59	区費教員の活用による30人程度学級を含め、きめ細かな教育環境の推進を要望する。	国は、区の学級編制基準と同等の内容への変更を段階的に進めていくこととなりました。今後は、学級の人数に関しては国の施策に基づいて進めることとし、区では区費教員を活用し、教員の教科の専門性を生かしたきめ細かな教育環境の推進を図っていきます。
60	学童施設について、放課後の空き教室を代替場所とするなどの場所的制約はやむを得ないものと理解しているが、放課後の教室の場を利用し、近隣住民の方からボランティアを募り、内容の充実をお願いしたい。	子どもたちの放課後の活動については、学校の状況に応じて、地域住民等の協力を得て、放課後子ども教室として実施しています。今後も、子どもたちが地域の中で多様な体験ができる機会を提供していきます。 なお、学童施設に関連するご意見は、担当所管課と共有させていただきます。
61	児童館を存続してほしい。中高生用の施設を区内拠点ごとに7つ新設してほしい。	児童館に関連するご意見は、担当所管課と共有させていただきます。